

IBD外来 / 総合内科

炎症性腸疾患(IBD : Inflammatory bowel disease)は、慢性的に腸に炎症を起こす病気。代表的な疾患は潰瘍性大腸炎とクローン病。最近増加してきた好酸球性消化管疾患(好酸球性食道炎や好酸球性胃腸炎)、腸管ペーチェット病なども対象としています。

成人先天性心疾患外来 / 循環器内科

大人になった先天性心疾患患者さんが小児期からスムーズに移行できるよう、循環器内科医と小児循環器医による診療をおこなっています。心房中隔欠損や心室中隔欠損のように根治に近い疾患、フォロー四徴症のように再手術が必要となる疾患、フォンタン型手術後の患者さんや未治療の患者さんなど、幅広く対応しています。

息切れ外来 / 循環器内科・呼吸器内科・総合内科・リハビリテーション科

慢性的に息切れを感じている患者さんが対象。息切れの原因が複数の疾患にまたがる場合も、4つの診療科が連携携して治療方針を考え、症状改善に向けたリハビリ、生活改善の提案などもおこないます。

緩和ケア外来(緩和医療専門外来) / 緩和ケア内科

がん、非がんを問わず、緩和ケアを必要とされている方が対象。通院による症状緩和をおこないます。緩和ケア外来は、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟、がん相談支援センターとも連携し、切れ目のない緩和ケアを提供します。

脳腫瘍外来 / 脳神経外科

脳腫瘍と診断された方、良性腫瘍、悪性腫瘍すべてを対象としています。

機能脳外科外来 / 脳神経外科

パーキンソン病やてんかん、痛みやふるえ、こわばりなどの症状で、薬物治療以外に、外科治療の可能性が考慮される患者さんを対象としています。

脳血管内治療外来 / 脳神経外科

脳血管、頸部血管などの疾患で、カテーテル治療目的の患者さんを対象としています。

赤ちゃんの頭の形外来 / 形成外科

両側の後頭部が平らになった「変形性短頭」、片側の後頭部が平らになった「変形性斜頭」といった赤ちゃんの頭の変形が対象。生後3~6ヶ月頃に受診されることをおすすめしています。

顔面神経麻痺後遺症外来 / 形成外科

ウイルス感染や外傷、頭蓋内腫瘍によって生じた顔面神経麻痺の後遺症(運動時や安静時の顔面の非対称、病的共同運動、顔面拘縮)に対して治療をおこないます。

甲状腺外来 / 耳鼻咽喉科頭頸部外科

甲状腺や副甲状腺の良性の腫瘍やがんなどの診断や治療および術後の経過観察をおこなっています。

小児アレルギー外来 / 小児科

中学生までのお子さんが対象です。アレルギーの症状が出た場合はもちろん、血液検査で数値が高くて心配とか、周囲にアレルギーが多くて食べさせるのが心配などでの受診も可能です。

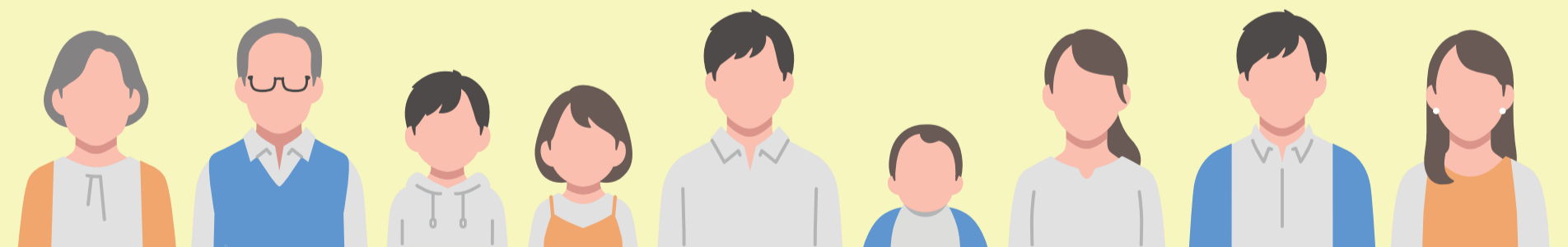
渡航外来 / 感染症内科

海外へ旅行される方、留学される方、お仕事で出張や赴任される方を対象に、渡航前のワクチン接種や予防内服、健康相談、また帰国後の健康相談や病気に対する診療をおこなっています。

はりひめ

No.03 2024年3月31日発行

「はり姫」の
専門外来。
ご存じですか？
専門的な治療が必要な病気や
長く付き合っていかなければならない症状などを
専門チームでサポートしています



IBD外来(潰瘍性大腸炎・クローン病など) / 成人先天性心疾患外来 / 息切れ外来 / 緩和ケア外来(緩和医療専門外来) / 脳腫瘍外来 / 機能脳外科外来 / 赤ちゃんの頭の形外来 / 顔面神経麻痺後遺症外来 / 甲状腺外来 / 小児アレルギー外来 / 渡航外来 etc...

兵庫県立 はりま姫路総合医療センター

〒670-8560 兵庫県姫路市神屋町3丁目264番地
TEL : 079-289-5080
FAX : 079-289-2080
HP : <https://hgmc.hyogo.jp>



【お車で
お越しの方】
【播但連絡道路】
・花田インターから11分(4.4 km)

【JR神戸線】
・姫路駅から12分(910m)
・東姫路駅から9分(710m)
【JR播但線】
・京口駅から12分(950m)

【バスで越しの方】
姫路駅北側バスターミナル5番のりばから
26系統：東姫路行き
26系統：阿保車庫行き
に乗り車
姫路駅南側バスターミナル22番のりばから
92系統：白浜海岸行き
93系統：東山循環 または 的形循環行き
に乗り車
病院北側「県立はりま姫路総合医療センター前」で降車

すべての息切れ患者さんの “安らぎ”につながるように。

「息切れ」はよくある症状ですが、心臓・肺を中心としてさまざまな臓器から起こり得ます。どの診療科を受診したらよいか、悩まれる患者さんも多いのではないのでしょうか。2022年10月に開設した「はり姫」の息切れ外来は、4つの診療科が初診から横連携する専門外来です。多職種が早期から介入し、正確な診断や的確な治療方針の提案に取り組んでいます。

「はり姫」の「息切れ外来」は画期的な取り組みです。

日本全国に息切れ外来を開設している病院はいくつもありますが、循環器科主体でチームに呼吸器科の医師がいなかったり、逆に、呼吸器科主体で循環器科が効果的なフォローアップ体制をとれていない病院もあると聞きます。そういう意味では、4つの診療科がフラットに協働している「はり姫」の息切れ外来は画期的な取り組みといえます。

息切れを起こしている患者さんの「苦しい」「こわい」「不安だ」といった気持ちに寄り添い、診断と内科的治療、プラスαでリハビリテーションをおこないます。



循環器内科 大西 哲存

リハビリテーション科 大西 宏和

呼吸器内科 木村 洋平

総合内科 進藤 達哉

薬だけで息切れを改善させるのは限界があることも。

サルコペニア（加齢や疾患による筋力の低下、身体機能の低下）は、内科だけでは診断が難しいのが実態です。その点、「はり姫」の息切れ外来チームにはリハビリテーション科の医師もいるので、サルコペニアもしっかりと評価できます。患者さんに外来でリハビリテーションを提案できるのも、大きな強みです。

臓器そのものに疾患のない患者さんにも、「あれだけたくさん検査をして、心配するような病気ではないと分かったのだから」と比較的安心感を持ってその後の治療に臨んでいただきやすいことが、息切れ外来の効果のひとつだと思います。

「息切れ外来」の流れ

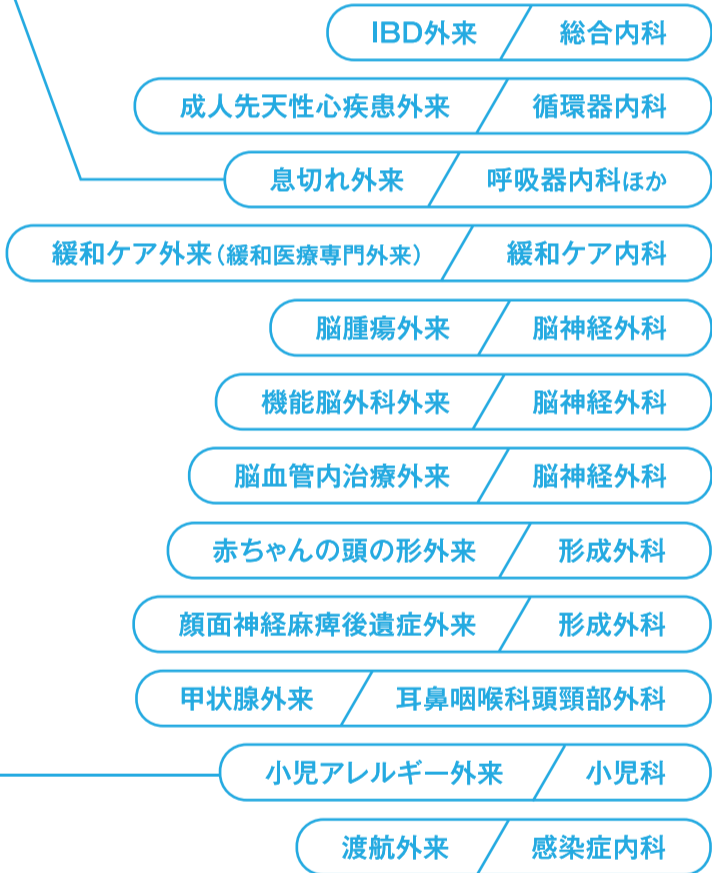
外来にて、原因精査のための診察・問診や各種検査をおこないます。

原因がわかれば、その疾患に応じた診療科で専門的な診察を受けていただきます。

原因がわからない場合も、リハビリテーションや呼吸リハ指導などをおこないます。

経過観察を経て治療方針が決まりましたら、かかりつけの診療所・病院で引き続きのフォローを受けてください。

30を超える診療科がある「はり姫」では、患者さんが悩んでいらっしゃる疾患・症状に合わせた良質な診療ができるよう、その疾患の専門医が担当したり、診療科や職種の垣根を越えてチームで対応したりする「専門外来」を置いています。これらは紹介制で診療していますので（渡航外来を除く）、「わたしのことだ!」「家族に合うかも?」とピンとこられたら、ぜひ、かかりつけの診療所や病院の先生に「はり姫」受診を相談してみてください。



たとえばこんなこと、
専門外来って、

「向き癖」による 赤ちゃんの頭の変形が 気になったら。

基本的には“見た目”の問題。

からの圧力によって生じる赤ちゃんの頭の変形(変形性斜頭や変形性短頭)の多くは、生後の赤ちゃんの向き癖によって生じます。日本国内での発生率は不明ですが、カナダの研究結果によると、生後2ヶ月の赤ちゃんの47%に変形性斜頭、変形性短頭が認められたといます。赤ちゃんのときに生じた頭の変形の程度は成長とともに改善することが知られており、目立つ頭の変形は10歳前後で10%、20歳前後で5%の患者さんに生じると考えられています。

赤ちゃんの頭の変形は基本的には“見た目”の問題で、真っ直ぐに走れない、肩こりがひどい、口を大きく開けられない、姿勢が悪くなるなどの運動機能の障害を生じることはありません。

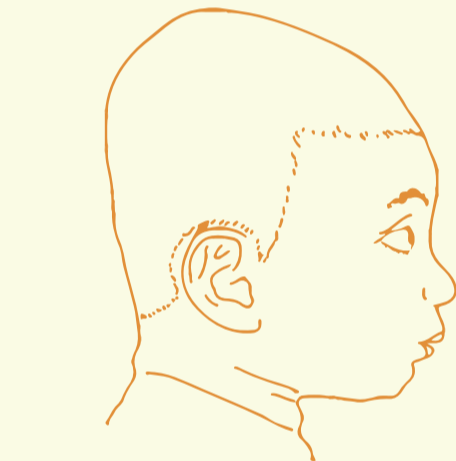
生後3~6ヶ月ごろを目安として受診をおすすめします。

生後3~4ヶ月くらいまでで変形が軽度であれば、育児習慣の見直し(抱っこする向きを変える、授乳する向きを変える、ベッドまたは赤ちゃんの寝る向きを変えるなど)により、頭の変形を改善することが可能です。生後4ヶ月以降で赤ちゃんの首がすわっており、頭部X線写真で中等症以上の変形性斜頭、変形性短頭と判断した場合は、生活習慣の見直しに加えて、頭蓋形状矯正ヘルメットによる治療を提案しています。

「はり姫」で採用しているミシガン頭蓋形状矯正ヘルメットは、健康保険の適用外で自費診療となります。治療内容や費用を含めたご家族の検討期間や十分な治療期間(生後1歳前後になると赤ちゃんが自分でヘルメットを外してしまい治療の継続が困難になることがあります)を確保するため、赤ちゃんの頭の変形が気になられる場合は、生後3~6ヶ月頃に受診していただくのが望ましいと考えています。



形成外科 小川 晴生



両側の後頭部が平らになった **変形性短頭**



片側の後頭部が平らになった **変形性斜頭**

これってアレルギー? だとしても、 おいしくたべて治す。

乳児の10%(10人に1人)、学童の3%に食物アレルギーがあるといわれています。しかしアレルギーにはじんましん、ゼーゼー、嘔吐・下痢などの症状が多岐にわたり、しばしば血液検査だけでは分かりません。また食事にはたくさんの食材が混じっていてアレルギーの原因を特定することは困難です。そのような例では食物経口負荷試験によって原因の特定をしたり安全に食べられる量を確認したりします。

「小児アレルギー外来」の対象となるお子さん

- ▶ 中学生までのお子さん
- ▶ 食べて症状が出た場合だけでなく、アトピー体質だから気になる、家族がアレルギーだから初めての食材は怖いなど、まずはかかりつけ医の先生に相談してください。

「小児アレルギー外来」の流れ

アレルギーの問診と診察、必要に応じて血液検査、皮膚テスト

日帰りまたは1泊入院で食物経口負荷試験(負荷食物は持参)

症状に応じて食べられる量や形態を指導

アレルギーの3つの症状

1. 皮膚・粘膜症状 (じんましん、湿疹、目のかゆみ、口の中の違和感)
2. 呼吸器症状 (くしゃみ、鼻づまり、ヒューヒュー、ゼーゼー、息苦しさ)
3. 消化器症状 (下痢、気持ち悪い、吐き気、嘔吐、血便)



感染症内科 西村 翔

渡航前のワクチン接種から 帰国後の健康相談・診療まで。

海外へ旅行される方、留学される方、お仕事で出張や赴任される方を対象に、渡航前のワクチン接種や予防内服、健康相談、また帰国後の健康相談や病気に対する診療をおこなっています。めずらしい渡航先やアフリカ・南アメリカなどは情報が少なく、感染リスクなどがわからない国も多いのではないのでしょうか。そういった場合の相談も含めてサポートしますので、ぜひお役立てください。



渡航先の国によって必須接種のワクチンは変わります。

行き先がどの国か、都会なのか田舎なのかで、流行している感染症の種類やリスクは異なります。マラリア流行地域に行かれる方へは、マラリアの予防内服薬も処方します。



渡航先の活動内容に応じた健康問題への対策もおこないます。

たとえば、旅行先で山に登る場合は高山病、ダイビングをして海に潜る場合は潜水病といった疾患のリスクがあり、一人ひとりの渡航内容に応じてオーダーメイドで診療します。



帰国後の体調不良は、感染症のせいかもしれません。

帰国後に発熱や下痢が続く場合、感染症の疑いがあります。旅行日程や口にしたもの、行った場所などを詳しく教えていただければ、原因の特定やその後の迅速な治療に役立ちます。

渡航外来は、かかりつけの先生からの紹介制ではありません。はり姫ホームページから、患者さんが直接ご予約ください。(完全予約制)

